



兄の純さんと一緒に練習に励む夏菜さん(三重小学校)



インターハイへ出場する柴原さん

特集

子どもたちの成長を支える スポーツの力

健康教育課 ☎ 829-1197

スポーツから学ぶ大切なこと

スポーツには集中力やチームワーク、そして礼儀などさまざまな学びの側面があります。試合当日に向けて、日々、練習に励んでいる市内の子どもたち。仲間と悔しさや喜びを分かち合ったり、試行錯誤を繰り返したりして昨日の自分よりも学び、成長しながら取り組んでいます。

7月21日①から8月20日②には、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県の九州北部4県を中心に令和6年度全国高等学校総合体育大会「北部九州総体」(インターハイ)が開催されます。インターハイは高校生がこれまでの練習の成果を発揮し、全国の強豪と力を比べる絶好の機会です。また、全国から多くの大会関係者が訪れ、開催地の特産品や文化を楽しめる場でもあります。長崎市では7月25日③から8月7日④にベネックス総合運動公園かきどまり庭球場でソフトテニス競技、同かきどまり陸上競技場でアーチェリー競技が行われます。大会期間中は臨時バスを運行します。公共交通機関での来場をお願いします。



2024 北部九州総体のシンボルマーク

インターハイの他にも、6月の長崎中学校総合体育大会(中総体)では、市内の中学生がさまざまな競技で白熱したプレーを見せてくれました。一瞬一瞬を大切にし、自分や仲間を鼓舞する姿。その姿に仲間や家族から力強い声援が送られました。

今回の特集では、インターハイに向けて日頃から練習に打ち込む生徒へのインタビューや中総体の様子、そして、その生徒たちを支える地域の協力体制を通じて、スポーツと子どもたちの成長について紹介します。

ソフトテニス 長崎商業高校ソフトテニス部
Soft Tennis 堀田 菜々美さん



堀田さんは、6月1~4日の長崎県予選を勝ち抜き、女子ソフトテニス個人戦で県代表として北部九州総体に挑みます。



Q. インターハイに向けてどのような練習をしていますか？

A. 相手の動きを想定して、それに合わせたプレーを練習しています。本番を意識し、緊張感を持ちながら取り組んでいます。練習はきついときもありますが、仲間がいるから頑張れます。

Q. インターハイでの目標を教えてください

A. 「長商（長崎商業高校）らしさ」を生かしたプレーで勝ちあがることです。「どんなときも声を出してプレーする」というチーム目標を胸に最後の1本まで全力でプレーして勝ち進みたいです。

Q. ソフトテニス部で部活をしていて良かったことはありますか？

A. ソフトテニスにはペアでするスポーツなので、ペアのためにボールをつないだり、相手との駆け引きを行ったりすることで、普段から思いやりの気持ちを持てるようになったことです。



アーチェリー 長崎市アーチェリー協会
Archery 松山 純さん（三重中学校）



本市から北部九州総体に出場する選手はいませんが、将来出場することを目指して日々練習に励む子どもたちがいます。



Q. アーチェリーをはじめたきっかけは？

A. 中学校に入るときに父の知り合いから勧められたことがきっかけです。アーチェリーの画像をネットで見て「カッコいいな」と思い始めてみましたが、思っていた3倍は的に当たりませんでした。きれいなフォームでド真ん中に当たったときはとても嬉しいです。

Q. 何を目標に日々練習していますか？

A. 自己ベスト更新と全国大会出場を目指しています。2時間程度の練習を週に4回、ひたすら矢を撃っています。「今の矢はなぜ当たらなかったんだろう」と分析し、改善しながら練習するのが楽しいです。

Q. アーチェリーをしていて良かったことはありますか？

A. 冷静に矢を撃つ練習のおかげで、心を落ち着かせることが簡単にできるようになったことです。アーチェリー場で他校の友達もたくさんできました。





全力で挑む、かけがえのない時間

最後の1分1秒まで! 仲間と迎えた中総体

長崎中学校総合体育大会が6月に開催。前ページの生徒以外にも多くの中学生がさまざまなスポーツに励んでいます。17競技に453チーム5,790人が参加し、県大会出場をかけて熱い闘いが繰り広げられました。

保護者の応援コメント

- ・家で自主練習していたりあなたが努力しているのをしっかりと見てきたよ。練習した成果を出せるように頑張れ! (滑石中学校)
- ・失敗しても大丈夫! その経験から学ぶことがある。競技に集中しながらも笑顔で試合を楽しんでね! (西浦上中学校)
- ・勉強も部活も一生懸命取り組んでいて素晴らしい。試合で最高のパフォーマンスができるように頑張れ。(岩屋中学校)

ラグビー競技選手宣誓

三和中学校 宮崎龍斗さん

中総体2日目、市営ラグビー場で宣誓した宮崎さん。「私達選手一同は日ごろの練習の成果を出し、中学校生活の思い出にできるよう仲間と協力し悔いのないプレーをする事を誓います」と選手を代表して試合にかける意気込みを力強く誓いました。





中学生の部活動を地域へ移行

学校と連携して地域でも子どもの活動をサポート

本市でも少子化が深刻化して「部員不足で大会やコンクールに参加できない」「学校に希望する部活動がない」という問題が出てきています。子どもたちがスポーツ・文化・芸術のさまざまな活動を体験でき、さらに専門の指導者や施設などが整った環境を提供するために、学校での部活動を徐々に地域に移行します。

Q. 地域とどう連携するの？

A. 部活動を地域の各団体が運営主体となる地域クラブに、まずは休日から移行していきます。平日も、環境や条件が整っている団体は順次移行します。在籍校に希望する部活動がない場合には、市内の他の学校が拠点校として受け入れることで、大会などに出場することができます。

Q. 子どもにはどんなメリットがあるの？

A. 自分が活動するスポーツ・文化芸術活動の選択肢が増えるとともに、より専門的な指導を受けられたり、余裕ある人数で活動できたりと、子どもが受けるメリットはさまざまです。学校の枠を越えて、地域の多世代との交流が生まれる可能性もあります。



すでに地域移行している
琴海バスケットボール地域クラブ



地域移行の
詳細はこちら

地域クラブの指導員になりませんか

市内の中学生に指導やアシスタントができるかたを募集しています。生徒たちによりよい競技環境を提供するため、皆さんの力を貸してください。
スポーツ振興課 ☎ 824-3728

